

近畿大学東洋医学研究所活動報告

教授	新谷卓弘
助教授	田原英一
講師	森山健三
助手	中尾紀久世
研究員	高屋豊
	泉谷悟
	天津朗典
	嶋本都多子
研修員	辻智之
	川口顕
	伊藤修広
	前嶋拓也
	晃野永士
	清水健司
	池田憲久

附属診療所薬局

技術係長	月岡康行
技術主任	曾和智子
薬剤師	奥平恭子
	上野安由美
調剤補助員	川端寿代

概要

1. KAMPO EYES シンポジウムについて (平成18年度を振り返って)

2002年5月にKAMPO EYES シンポジウムを立ち上げた。この会の趣旨は「医学と薬学の有機的な連携を基本として、歴史上の事実は正しく、新しい情報は早く、かつ分かりやすく、明日からの臨床に役立つ幅広い内容を提供することにある。総会は年1回、薬局部会は年4回、実地臨床分科会は年1回、シンポジウムの機関誌を年6回発行している。2006年3月4日に「末梢循環障害(血虚)と漢方」をテーマとした第5回KAMPO EYES シンポジウムを開催した。招待講演は金子仁先生(金子循環器科内科学科長)による「補虚養血薬としての薬用人参」を、基調講演は杉山高秀先生(高石藤井病院副院長)に「泌尿器科医からみた男性更年期」を、一般講演は友廣教道先生(近畿大学薬学部薬用資源学研究室)に「柑橘類果実の血液レオロジー向上作用」を、我藤伸樹先生(中野BC(株)リサーチセンター食品化学研究所所長)に「青梅の果汁を加熱すると、血液の流動性を向上させる梅エキスができる」を、吉川雅之先生(京都薬科大学薬学研究室教授)に「人参と地黄の修治」を、寒川慶一先生(大阪市立大学医学部産科婦人科非常

勤講師)に「紅参の婦人科領域への応用」を、谿忠人先生(前、富山大学和漢医薬学総合研究所教授、現、大阪大谷大学薬学部漢方医療薬学講座教授)に「動脈硬化症(血管内膜肥厚)を予防する漢方処方」を、川口恵子先生(川口レディースクリニック院長)に「女性の更年期障害」をお願いした。

その他の講演は新谷が基調講演として「男性更年期障害と漢方」を、一般講演として田原が「男性不定愁訴の漢方治療」、月岡が「漢方医学から見た漢薬・熟地黄の補虚養血効果」について講演を行った。討論の司会は京都府立医科大学東洋医学講座助教授の三谷和男先生と大阪薬科大学薬科学教室の馬場きみ江先生に依頼した。

2. 東洋医学研究所附属診療所臨床部門の活動状況について

自費診療は月曜日から金曜日までの午前と午後、第二・四土曜日には午前のみ実施している。

この結果、自費診療による外来患者が一日平均25名弱と徐々に増加して来たが、さらなる増患を期待して2004年3月から保険診療の漢方外来(週二回)も併行して行っている。

鍼灸治療は需要が高まり、2005年4月より週三日から四日へ枠を拡大した。低出力レーザー治療も外来で併用し、アレルギー性鼻炎や関節リウマチに適用している。

検査では生体観察用顕微鏡やMC-FANを駆使して微小循環系の評価を、唾液アミラーゼ活性測定器でストレスの評価を実施している。

3. 東洋医学研究所附属診療所調剤室の活動状況について

現在薬剤師4名(常勤2名,非常勤2名),調剤補助員1名(非常勤)のスタッフで業務を行っている。調剤室の面積は113.25平方メートルあり、それぞれ受付・書記、製剤品棚を配した部屋及び生薬煎剤調剤室、生薬粉末調剤室、製剤・煎剤調製室、生薬・製品倉庫、生薬標本・資料室、生薬・製品試験室にわかれている。

現在の採用生薬および製品は刻み生薬(165品目),エキス製剤(79品目),丸剤(8品目),軟膏剤(2品目)であり、また、現在使用している煎剤は242品目である。次に剤形からみた使用内訳では、煎剤(93.8%),丸剤(2.6%),散剤(0.1%)外用剤(0.3%),エキス製剤(2.4%),その他(0.8%)

となっており，採用処方数は 398 である．

主な業務は薬品管理業務としては生薬（刻み，粉末）および製剤品の品質検査，発注，検収，在庫管理などである．薬価計算業務では各処方および加味生薬の薬価の算出を行っている．調剤業務には外来と入院がある．製剤業務では主に煎剤，散剤，軟膏剤などの予製剤を調製している．漢方薬情報収集業務では，生薬薬理文献の収集および解析，漢方方剤治験報告の収集および解析，原本から処方中の配合生薬および分量の確認などを行っている．試験・研究業務では，漢方方剤エキス化の研究，外来漢方調剤システムの研究，入院用漢方調剤システムの研究，古典からみた処方の正しい運用についての試験研究などを行っている．

啓蒙活動としては，出版分野では漢方医家向け生薬薬理解説書，漢方方剤解説書，処方集の発行などを行っている．また，教育に関しては専門職者及び一般市民への正しい漢方の啓蒙を行っている．平成 7 年 10 月から薬学部修士課程の 6 ヶ月病院実習の受け入れも始めた．

教育活動

現在医学部学生に対し 1 年次に「病院実習」として附属診療所見学を，3 年次に「漢方医学各論」として授業を行っている．また平成 17 年度より 2 年次の臨床研修医の受け入れも 1 ヶ月単位で開始した．その他，学外の医師の臨床研修を受け入れ，日本東洋医学会専門医指定研修施設としての役割も果たしている．

原 著

- 1) 田原英一，新谷卓弘，森山健三，中尾紀久世，月岡康行，新澤敦，二宮裕幸，高屋豊：手湿疹における腸癰湯の有効性の検討，日本東洋医学雑誌，57(5)639 - 643, 2006
- 2) Takaya Y., Shintani T., Tahara E., Tsukioka Y., Moriyama K., Nakao K., Matsuda H., Niizawa A., Ninomiya H., Goto., Shimada Y., Terasawa K. : Association of remnant-like lipoprotein particles cholesterol with "oketsu" syndrome, Journal of Traditional Medicines, 23(4), 147-150, 2006

症例報告

- 1) 新谷卓弘：黄耆が奏功した両側手掌足蹠に限局する多汗症の一例，KAMPO EYES，(23)6-7，2006
- 2) 新谷卓弘：半夏白朮天麻湯が奏功した肩こりと頭痛の一例，KAMPO EYES，(24)6-7，2006
- 3) 新谷卓弘：甘草瀉心湯加黄耆が奏功した慢性腎不全の一例，KAMPO EYES，(25)6-7，2006
- 4) 新谷卓弘：柴胡四物湯が奏功していると考えら

れる特発性てんかんの一例，KAMPO EYES，(26)6-7，2006

- 5) 新谷卓弘：腸癰湯加晋耆が奏功した掌蹠膿胞症に合併した慢性腎不全の一例，KAMPO EYES，(27)6-7，2006
- 6) 新谷卓弘：アレルギー体質を有する更年期障害の女性に加味逍遙散と真武湯の併用が有用であった一例，KAMPO EYES，(28)6-7，2006
- 7) 田原英一：当帰芍薬散合人参湯が奏効した無月経の一例，KAMPO EYES，(23)8-9，2006
- 8) 田原英一：柴胡桂枝湯加石膏晋耆が奏効した尋常性乾癬の一例，KAMPO EYES，(24)8-9，2006
- 9) 田原英一：苓桂朮甘湯加減が奏効したアレルギー性結膜炎の一例，KAMPO EYES，(25)8-9，2006
- 10) 田原英一：黄耆桂枝五物湯が奏効した全身のしびれの一例，KAMPO EYES，(26)8-9，2006
- 11) 田原英一：柴胡桂枝乾姜湯合桂枝茯苓丸が奏効した耳管開放症の一例，KAMPO EYES，(27)8-9，2006
- 12) 田原英一：茯苓四逆湯が奏効した乳癌術後の不定愁訴の一例(28)8-9，2006

著 書

- 1) 『冷え症・むくみ ホントなのウソなの』(新谷卓弘著，環健出版社，2006)

総説・資料・その他

- 1) 新谷卓弘：第 18 回伝統医学臨床セミナー 私の好きな漢方方剤，日本東洋医学雑誌 57(2)185-212，2006
- 2) 新谷卓弘：漢方医学理論 陰陽五行と五臓六腑，産婦人科治療 92(増刊)506-516，2006
- 3) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～こころの歪みが身体症状を生む～，年金時代(507)37，2006.1
- 4) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～「感情の便秘」をさげましょう！～，年金時代(508)37，2006.2
- 5) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～自分と未来は変えられる～，年金時代(509)37，2006.3
- 6) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～大和医学に学ぶ～，年金時代(511)37，2006.4
- 7) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～氣を病むということ(氣虚)～，年金時代(512)37，2006.5
- 8) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～氣とこころの関連について～，年金時代(513)37，2006.6
- 9) 新谷卓弘：心身一如の東洋医学の話～氣を病むということ(氣逆)～，年金時代(514)37，

2006.7

- 10)新谷卓弘:心身一如の東洋医学の話～氣を病むということ(氣滯)～,年金時代,(516)37,2006.8
- 11)新谷卓弘:心身一如の東洋医学の話～血を病むということ(血虚)～,年金時代,(517)37,2006.9
- 12)新谷卓弘:心身一如の東洋医学の話～血を病むということ(瘀血)～,年金時代,(519)37,2006.10
- 13)新谷卓弘:心身一如の東洋医学の話～水を病むということ(水滯)～,年金時代,(520)37,2006.11
- 14)新谷卓弘:心身一如の東洋医学の話～「和」のスタイル,自然体への回帰～,年金時代(521)37,2006.12
- 15)新谷卓弘:関西レポート(32)大和医学との出会い,和漢薬,(635)5,2006.4
- 16)新谷卓弘:良薬は口に苦し!? 漢方研究 277,2006.8
- 17)新谷卓弘:これからの漢方 私ならこう考える漢方座談会,薬事日報,4-7,2006.10.20
- 18)森山健三:処方解説“疎経活血湯”,KAMPO EYES,(23)10,2006
- 19)森山健三:処方解説“乙字湯”,KAMPO EYES,(24)10,2006
- 20)森山健三:処方解説“半夏瀉心湯”,KAMPO EYES,(25)10,2006
- 21)森山健三:処方解説“柴胡桂枝湯”,KAMPO EYES,(26)10,2006
- 22)森山健三:処方解説“八味地黄丸”,KAMPO EYES,(27)10,2006
- 23)森山健三:続欧米のハーブ(第42回)“GOLDEN ROD, GRAVEL ROOT”,大阪府薬雑誌,57(1)53,2006
- 24)森山健三:続欧米のハーブ(第43回)“GUAIACUM, HELLEBORE AMERICAN”,大阪府薬雑誌,57(2)53,2006
- 25)森山健三:続欧米のハーブ(第44回)“HOREHOUND”,大阪府薬雑誌,57(3)44,2006
- 26)森山健三:続欧米のハーブ(第45回)“HORSE CHESTNUT”,大阪府薬雑誌,57(4)49,2006
- 27)森山健三:続欧米のハーブ(第46回)“HORSE RADISH”,大阪府薬雑誌,57(5)57,2006
- 28)森山健三:続欧米のハーブ(第47回)“HORSETAIL”,大阪府薬雑誌,57(6)83,2006
- 29)森山健三:続欧米のハーブ(第48回)“HYSSOP”,大阪府薬雑誌,57(7)53,2006
- 30)森山健三:続欧米のハーブ(第49回)“ICELAND MOSS”,大阪府薬雑誌,57(8)67,2006
- 31)森山健三:続欧米のハーブ(第50回)“IPECACUANHA”,大阪府薬雑誌,57(9)62,2006
- 32)森山健三:続欧米のハーブ(第51回)“IRISH MOSS”,大阪府薬雑誌,57(10)42,2006
- 33)中尾紀久世:最新!中国・中医学・中薬学情報(22)乳汁分泌不全,KAMPO EYES,(23)11,2006
- 34)中尾紀久世:最新!中国・中医学・中薬学情報(23)胆石症,KAMPO EYES,(24)11,2006
- 35)中尾紀久世:最新!中国・中医学・中薬学情報(24)メニエール病,KAMPO EYES,(25)11,2006
- 36)中尾紀久世:最新!中国・中医学・中薬学情報(25)前立腺肥大,KAMPO EYES,(26)11,2006
- 37)中尾紀久世:最新!中国・中医学・中薬学情報(26)肝硬変による腹水,KAMPO EYES,(27)11,2006
- 38)月岡康行:日本薬局方収載の民間薬(13)“葛”,KAMPO EYES,(23)4-5,2006
- 39)月岡康行:日本薬局方収載の民間薬(14)“桔梗”,KAMPO EYES,(24)4-5,2006
- 40)月岡康行:日本の民間薬(15)“蒲公英”,KAMPO EYES,(25)4-5,2006
- 41)月岡康行:日本の民間薬(16)“艾葉”,KAMPO EYES,(26)4-5,2006
- 42)月岡康行:日本の民間薬(17)“無花果”,KAMPO EYES,(27)4-5,2006
- 43)月岡康行:日本の民間薬(18)“木瓜”,KAMPO EYES,(28)4-5,2006

学会発表

- 1) 新谷卓弘:男性更年期における漢方治療,東洋心身医学研究会,東京,2006.2.18
- 2) 田原英一:隔離飼育ストレスにおける3相性皮膚反応の増悪と抑肝散の改善効果,東洋心身医学研究会,東京,2006.2.18
- 3) 新谷卓弘:脳血管性認知症に関する釣藤散の効果について,第79回日本薬理学会年会シンポジウム,横浜,2006.3.10
- 4) 田原英一:疎経活血湯が奏効した糖尿病合併こむら返りの1例,第57回日本東洋医学会学術総会ラウンドテーブルディスカッション 2劇的に効いた漢方の経験 ベストケースをエビデンスとするために,大阪,2006.6.24
- 5) 高屋豊,新澤敦,二宮裕幸,山本篤,中尾紀久世,月岡康行,森山健三,村上純一,川口顕,田原英一,新谷卓弘:半夏厚朴湯難治例の上部消化管内視鏡的検討,第57回日本東洋医学会学術総会,大阪,2006.6.25
- 6) 川口顕,田原英一,中尾紀久世,森山健三,月岡康行,新谷卓弘:円形脱毛症が鍼灸治療と漢方薬の併用にて改善されたと考えられる一例,

- 第 57 回日本東洋医学会学術総会，大阪，2006.6.25
- 7) 二宮裕幸，新澤敦，山本美由紀，長山紀子，高屋豊，田原英一，新谷卓弘，嶋田豊：真武湯エキス合附子理中湯エキスに適応病態の検討，第 57 回日本東洋医学会学術総会，大阪，2006.6.25
- 8) 新沢敦，小暮敏明，田原英一，二宮裕幸，新谷卓弘，嶋田豊：関節リウマチに補中益気湯加減が奏効した 2 例，第 57 回日本東洋医学会学術総会，大阪，2006.6.24
- 9) 田原英一：漢方の考え方に対する現代医学的アプローチ 漢方薬の適正使用実践に必要な知識と技能薬剤師をサポートするサイエンス 医療薬学 2006 クリニカルファーマシンポジウム，大阪，2006.7.16
- 10) 新谷卓弘，田原英一，森山健三，中尾紀久世，月岡康行，二宮裕幸，新澤敦，松田秀秋，高屋豊，山本篤：唾液アミラーゼ活性と口腔症状(口苦・粘り)の検討，第 23 回和漢医薬学会大会，岐阜，2006.8.26-27
- 11) 田原英一：アレルギー性 3 相性皮膚反応と心身一如のアプローチ，第 23 回和漢医薬学会大会和漢医薬学生・若い研究者の集い 臨床の現場から基礎研究へ，岐阜，2006.8.26
- 12) 田原英一，新谷卓弘，中尾紀久世，森山健三：大柴胡湯去大黄加連翹? 苡仁が奏効した結節性痒疹の 1 例，第 16 回漢方治療研究会，東京，2006.9.23
- 13) 高屋豊，新谷卓弘：噴門弛緩程度による新たな内視鏡的噴門分類の検討，第 48 回日本消化器病学会大会，札幌，2006.10.11
- 14) 田原英一，新谷卓弘，新澤敦，二宮裕幸，高屋豊，中尾紀久世，月岡康行，森山健三，吉川雅之，山本篤，隠岐充啓：乳癌術後の不定愁訴に茯苓四逆湯加減が奏効した 2 例，平成 18 年度日本東洋医学会関西支部例会，大阪，2006.10.29
- 15) 新澤敦，山本美由紀，長山紀子，高屋豊，田原英一，二宮裕幸，新谷卓弘：漢方薬に起因したと考えられた重篤な薬物性肝障害の 2 例，平成 18 年度日本東洋医学会関西支部例会，大阪，2006.10.29
- 16) 隠岐充啓，新谷卓弘，田原英一：「治打撲一方」の術前，術後投与について，平成 18 年度日本東洋医学会関西支部例会，大阪，2006.10.29
- 講演・その他
- 1) 新谷卓弘：男性更年期障害と漢方，第 5 回 KAMPO EYES シンポジウム，大阪，2006.3.4
- 2) 田原英一：男性不定愁訴の漢方治療，第 5 回 KAMPO EYES シンポジウム，大阪，2006.3.4
- 3) 月岡康行：漢方医学から見た漢薬・熟地黄の補虚養血効果，第 5 回 KAMPO EYES シンポジウム，大阪，2006.3.4
- 4) 田原英一：肥満と漢方，第 14 回 KAMPO EYES シンポジウム薬局分科会，大阪，2006.1.14
- 5) 新谷卓弘：アンチエイジングと漢方，第 15 回 KAMPO EYES シンポジウム薬局分科会，大阪，2006.4.15
- 6) 新谷卓弘：不眠症と漢方，第 16 回 KAMPO EYES シンポジウム薬局分科会，大阪，2006.7.15
- 7) 新谷卓弘：炎症性腸疾患と漢方，第 17 回 KAMPO EYES シンポジウム薬局分科会，大阪，2006.10.14
- 8) 新谷卓弘：インフルエンザと漢方(第 33 回)，よく分かる漢方教室(NHK 大阪文化センター)，大阪，2006.1.14
- 9) 新谷卓弘：高血圧と漢方(第 34 回・最終回)，よく分かる漢方教室(NHK 大阪文化センター)，大阪，2006.3.11
- 10) 新谷卓弘：「漢方診療 30 年」の解説～小続命湯から柴胡剤へ，第 8 回西日本医師漢方アカデミー，大阪，2006.2.25
- 11) 新谷卓弘：「漢方診療 30 年」の解説～小柴胡湯，第 9 回西日本医師漢方アカデミー，大阪，2006.4.22
- 12) 新谷卓弘：「漢方診療 30 年」の解説～大柴胡湯，第 10 回西日本医師漢方アカデミー，大阪，2006.9.9
- 13) 新谷卓弘：「漢方診療 30 年」の解説～柴胡加龍骨牡蠣湯，第 11 回西日本医師漢方アカデミー，大阪，2006.12.9
- 14) 新谷卓弘：五臓その 3～物言わぬ高齢者から学ぶ，第 3 回大阪漢方研究会，大阪，2006.3.4
- 15) 新谷卓弘：女性と漢方～更年期を考える，第 3 回大阪漢方研究会，大阪，2006.3.4
- 16) 新谷卓弘：漢方治療の実体験(腹診を中心に)，第 1 回臨床漢方のエッセンス 神戸 2006.5.18
- 17) 新谷卓弘：『症例から学ぶ和漢診療学』の解説，第 2 回臨床漢方のエッセンス 神戸 2006.7.20
- 18) 新谷卓弘：『症例から学ぶ和漢診療学』の解説，第 3 回臨床漢方のエッセンス 神戸 2006.9.21
- 19) 新谷卓弘：『症例から学ぶ和漢診療学』の解説，第 4 回臨床漢方のエッセンス，神戸，2006.11.16
- 20) 新谷卓弘：明日から使える漢方処方(第 1 回)，第 6 回北和漢方研究会，奈良，2006.7.6
- 21) 新谷卓弘：明日から使える漢方処方(第 2 回)，第 7 回北和漢方研究会，奈良，2006.12.14

- 22)新谷卓弘:アンチエイジングに対する漢方の考え方,第37回南加賀地区漢方研究会,小松,2006.3.17
- 23)新谷卓弘:腹診からみた氣血水の失調について,五感に訴える漢方教室,大阪,2006.3.25
- 24)新谷卓弘:心身一如の東西融和医学の話~中庸の発想~,第67期神戸市民大学,神戸,2006.5.31
- 25)新谷卓弘:ストレスと漢方治療~氣の応用について~,第20回医学生のための漢方医学セミナー,三重,2006.8.6
- 26)新谷卓弘:第1回近畿漢方研修会 堺,2006.9.7
- 27)新谷卓弘:氣とこころ,第10回ハートフル漢方研究会,大阪,2006.9.16
- 28)新谷卓弘:アンチエイジングと漢方,神戸婦人大学,神戸,2006.9.30
- 29)新谷卓弘:首・肩・腕の痛みと漢方治療,京都漢方研究会2006,京都,2006.10.8
- 30)新谷卓弘:第2回近畿漢方研修会,堺,2006.11.9
- 31)新谷卓弘:ストレスと人参,Young Old会,大阪,2006.12.7
- 32)田原英一:はじめての漢方診療,近畿大学医学部臨床研修医イブニングセミナー,大阪,2006.8.31
- 33)田原英一:漢方エキス剤を使ってみる,近畿大学医学部臨床研修医イブニングセミナー,大阪,2006.1.19
- 34)田原英一:和漢診療ケーススタディ第2回 氣虚,第6回 kampo-kansai,大阪,2006.2.26
- 35)田原英一:和漢診療ケーススタディ第3回 瘀血,第7回 kampo-kansai,大阪,2006.3.19
- 36)田原英一:和漢診療ケーススタディ第4回 陰陽,第8回 kampo-kansai,大阪,2006.4.23
- 37)田原英一:和漢診療ケーススタディ第5回 水毒,第9回 kampo-kansai,大阪,2006.5.28
- 38)田原英一:和漢診療ケーススタディ第6回 血虚,第10回 kampo-kansai,大阪,2006.6.18
- 39)田原英一:和漢診療ケーススタディ第7回 漢方の診察,第11回 kampo-kansai,大阪,2006.7.23
- 40)田原英一:和漢診療ケーススタディ第8回 太陽病,第12回 kampo-kansai,大阪,2006.9.24
- 41)田原英一:和漢診療ケーススタディ第9回 少陽病,第13回 kampo-kansai,大阪,2006.10.22
- 42)田原英一:和漢診療ケーススタディ第10回 陽明病・太陰病,第14回 kampo-kansai,大阪,2006.11.19
- 43)田原英一:しびれの1例,神戸和漢薬臨床検討会,神戸,2006.5.27
- 44)田原英一:耳管開放症の1例,神戸和漢薬臨床検討会,神戸,2006.7.22
- 45)田原英一:強迫性障害の1例,神戸和漢薬臨床検討会,神戸,2006.9.30
- 46)田原英一:肩こり・ふらつきの1例,神戸和漢薬臨床検討会,神戸,2006.11.18
- 47)田原英一:痒疹の1例,漢方臨床談話会,大阪,2006.4.8
- 48)田原英一:蕁麻疹の1例,漢方臨床談話会,大阪,2006.6.10
- 49)田原英一:腹部熱感の1例,漢方臨床談話会,大阪,2006.7.8
- 50)田原英一:慢性蕁麻疹の1例,漢方臨床談話会,大阪,2006.10.14
- 51)田原英一:「はじめての漢方治療十五話」解説1,第2回臨床漢方のエッセンス,神戸,2006.7.20
- 52)田原英一:「はじめての漢方治療十五話」解説2,第3回臨床漢方のエッセンス,神戸,2006.9.21
- 53)田原英一:「はじめての漢方治療十五話」解説3,第4回臨床漢方のエッセンス,神戸,2006.11.16
- 54)田原英一:日常診療における腹診・脈診の実際,川西市東洋医学医会講演会,大阪,2006.4.22
- 55)田原英一:高齢者のための和漢診療学,第17回大阪医大漢方研究会,大阪,2006.9.7
- 56)田原英一:難治性皮膚疾患と漢方治療,近畿大学薬学部生涯教育研修会,大阪,2006.9.9
- 57)田原英一:高齢者のための和漢診療学,中野区内科医会漢方グループ講演会,大阪,2006.9.22
- 58)田原英一:皮膚疾患と湯液治療,日本東洋医学会関西支部奈良県専門医研修部会,奈良,2006.10.15
- 59)田原英一:アレルギー性3相性皮膚反応と漢方方剤の作用,大和アレルギー研究会,奈良,2006.11.14
- 他大学講義
- 1) 新谷卓弘:岡山大学医学部講義,岡山大学,岡山,2006.6.29.
- 2) 田原英一:岡山大学医学部講義,岡山大学,岡山,2006.6.22.
- 3) 森山健三:京都薬科大学講義,京都薬科大学,京都,2006.4~9
- 4) 森山健三:大阪薬科大学講義,大阪薬科大学,大阪,2006.9~2006.3